

## 「教育行政改革に係る今後の方向性」

文部科学省初等中等教育局長による行政説明会の報告

平成 30 年 8 月 22 日に、文部科学省において、毎年恒例の文科省初中局長による行政説明会が開催され、入子会長以下本部役員が出席しました。今年の高橋道和局長が急な公務のため、代わって下間康行大臣官房審議官（初中局担当）から説明を受けました。文科省の行政課題が明らかになると考え、項目のみですが、報告いたします。

- ① Society 5.0 における学びの在り方について  
AI 技術の発達に伴う人材の育成、情報活用能力の習得など
- ② デジタル教科書と ICT 環境の整備について  
必要に応じてデジタル教科書を使用できる（学校教育法の改正）、ICT 支援員の配置など
- ③ 新たな学習指導要領の円滑な実施について  
主体的・対話的で深い学びの実現、資質・能力の確実な育成など
- ④ 学校における働き方改革の推進について  
業務の役割分担・適正化の実行、指導計画・組織運営の見直し、勤務時間の意識改革と時間外勤務の抑制、学校教育活動の支援など
- ⑤ 教師の資質向上について  
養成・採用・研修を通じた方策、教育公務員特例法の一部改正（免許法の一部改正、教員研修計画）など
- ⑥ 学校安全の推進等について  
学校安全に関する組織的取組、安全教育の充実、家庭・地域・関係機関等の連携・協働による学校安全の推進など
- ⑦ 学校と地域の連携・協働について  
コミュニティ・スクールの仕組み、導入状況、地域学校協働活動など

これらの中で、特に、新学習指導要領の実施、学校における働き方改革、教師の資質向上について、詳しい説明がありました。

※詳細は、今年度会報 210 号(1 月 1 日発行)に掲載する予定です。